

NAGOJISAN

WORKING OJISAN
IN NAGOYA
vol.10



第10のおじさん

Boulangerie ぱんくまくる 店長

熊野おーすけさん 46歳 双子座

職業：パン屋さん

趣味：サーフィン、ブラジリアン柔術、スノーボード



大須UCHU MAMAの
鑑定コーナー

勝手に～

仕事力

荷物の多さ

無敵力

イチロ一度

睡眠時間

熊野おじさんのラッキーカラーはパープルとレッドとピンク。華やかカラーをポイントにとり入れると持ち前のリーダーシップやカリスマ性がさらにアップ。優しさと愛情がますます満ち溢れて人気度さらに急上昇!目指せデキオジ!!

Purple Red pink

「おじさん」
なんて哀しい響きでしょう。

「おじさん」と聞いて爽やかなイメージを抱く人はいない……。おそらくほとんどの方は「クサイ」「古い」イメージで、時には「老害」などという冠もついてくるでしょう。自分はそんな「おじさん」ではない、まだ違う!と多くのおじさんは思つてあがいでいることでしょう。

でもいいんです。「おじさん」でいいんです。「おじさん」だつて輝くときがある。光つているんです!（脂で）

「おじさん」は一生懸命働いている。「おじさん」が考えた商品が、サービスが、街を、生活をつくっている。そんな働く「おじさん」にスポットライトを当てるみようではないか。新しい一面が見えてくるかもしれない。

名古屋で働く『おじさん』マガジン NAGOJISAN 編集長の言葉

立ち上がり、名古屋のおじさんたち



紙面を開くともっとつらい

ーお仕事はどんなことを？

パン屋「くまくる」を始めて11年目になります。営業時間は朝8時からよる7時半まで、50種類くらいのパンを置いています。色々な種類があるとお店に入つて「うわーっ」とテンション上がるじゃないですか、だからどんどん増えて120種類くらいあります。1品でも2品でも焼きたてが一日中あるといいなと思うので、朝から晩までずっと焼いています。

ーなぜパン屋さんを始めたのですか？

モテると思ったんです、ほんとに（笑）最初スーパーの肉屋に就職したんですけど、ずっとサラリーマンやるより「いつかは独立したい」と漠然と思って、当時イタ飯流行ってたからイタリアンのシェフもいいなあとか、美容師もモテるかなあとか……。で、ご縁があってパン屋さんで修行はじめた。10年くらい修行しましたよ。僕、器用な方なのですぐできるようになると思つたら意外になかなかできなくて、パンの面白さにどっぷりハマつて気づいたら本気モードです！パンの研究のため全国行脚しました。



美味しいそうなパンが並ぶ店内。ポケモン並みの種類を目指しているとか??

おじさんの仕事



パン屋始めて11年。
ジャムおじさんには
まだまだ追いつけませんね

「美味しい」って言つてもらえるのがもう本当に喜びです。水がどうとか、無添加とか、天然酵母とか、結構こだわっていたし、実際今もこだわっているんです。でも実は「天然酵母だからこのパンを食べる」という人よりもただ「くまくるのパンは美味しいから好き」と言ってくれる人のほうが顔もツヤツヤで健康的なんですね。結局美味しいっていうこだわりが一番大事で、大好きなものを大好きな人と食べることが一番ですよ。

ー正直めちゃくちゃ美味しいですよね

カバン……「持ち歩かないんですね。通勤も自転車なので財布と携帯と眼鏡だけ」コンパクトサイズのお財布は友人のお店で購入したお気に入りだそう。ということで商売道具の器具をすらりと並べていただきました。レトロな雰囲気のはかりなど年季の入った道具たち。美味しいパンを作るのに欠かせない愛着のあるものばかりです。



荷物は最小限だけど仕事道具は充実。定規はどう活躍するのだろうか…。

おじさんの中身

カバンの



おじさんの プライベート

おじさんの全盛期 あの頃

—全盛期っていつですか？

小学校の時めちゃめちゃモテました。「足速い」「面白い」ですね、このときのモテ要素って（笑）林間学校で2人に告白されました！小学校から高校までずっと野球をしていて、キャッチャーで4番。でも高校入ったら身体が小さくて。専門学校時代は黒歴史です、飲みに行ったりクラブ行ったり……。

—今もパワフルですよね……

はい、無敵です！4時半起きですけど、ずっと元気です。身体壊してる暇ないですよね。だからストレッチしたり、メンテナンスは大事。

若い頃はガチの無敵だったのにな……。



4時半に起きて働く熊野氏。今でも十分無敵です。

—休日はどんなふうに過ごしていますか？

ほとんど仕事ですが、休みは子どもと遊んでいます。うちの子は最近は家族3人で毎週サーフィンに行っています。シーズンが終わると今度はスノーボード。うちは元気でうるさいですよ、常に全力で喋っています！



—止まることなさそうですね……

スポーツはずっととしてますね。夫婦でプラジリアン柔術も週1、2回のペースで続けています。ストレス発散になりますよ。タックルして倒して絞める、みたいな。やつぱり体を動かすのって楽しいですよね。

人は感動に反応すると思うか

おじさんは未来を見つめる.....
隠し味に愛情を込めながら.....

おじさんの 夢

OJISAN'S DREAM

—今後の夢って？

若い人の独立支援をサポートして、独立者を増やして地域を盛り上げたいです。一人でやるって寂しいじゃないですか。街にポンポンと明かりを灯して、それぞれが光ってみんなで一緒に輝きたい。明るい光に虫が寄つてく るように、みんな明るい人を求めていると思うんです。美味しいパンを作るのももちろん、「いらっしゃいませ」の声や、飾つてあるお花、お金 を渡すときの笑顔。



4時半に起きて若者を引っ張っていくと語る熊野氏。イチロー氏の面影を感じさせる顔つきで、笑顔で語ってくれた。



いら、立体的に、五感で感じてほしいなと思います。

—若者にメッセージを

若者にとやかく言う前に僕がちゃんとしないと（笑）「君たちはそのままいいよ、僕らが引っ張ってやってよ」と言いたい！僕らが若いときはもっと悪いことばかりしてた、今の子達は真面目過ぎる。って、それも僕らが押さえつけているのかな……。だから「もっと一緒に楽しもうぜ」って思います。今の子達はハイスペックですよ。僕ら世代がちゃんと導けるようにならないと。

今日の おじランチ

WORKING OJISAN'S LUNCH



残ったパンを冷凍したもののや、前日のパンを色々切って、お昼にみんなで食べます、味見も兼ねて。毎日パンで飽きないか？とよく聞かれるんですけど、飽きたらやめようと言っていますが、不思議とこれが飽きないんですね……。

おじさんは 笑顔になる味 作つてゐる

＼満身創痍頑張ります／



おじさんの闘いは続く

名古屋で働く『おじさん』マガジン
NAGOJISAN vol.10

企画・制作・発行
株式会社シーエムバー

取材・文／渡邊享子
デザイン／廣瀬文洋
編集長／渡辺じろう

CM BAR



おじさんはイチロー氏そつくりの笑顔で語った。ときにはろくろを回しながら……。お客様の「美味しい」の声、幸せな笑顔のため、日々研究し心身を鍛え。早朝から一日中パンを焼いている。パイオニアとして同じ志を持つ若者たちへの思いやりも忘れない。パンへの愛、お客様への愛にあふれるおじさんってかつこよすぎます。ありがとうございます。

編集後記

私たちは名古屋で働くおじさんたちを応援しています!

DINOMEN ::



DiNOMEN
薬用デオドラントボディソープ

もう、「クサイ」なんて
言わせない。



MINIATURE
FACTORY

営業車のミニカー、作りませんか?
オリジナルのミニカー・キャラクターグッズ製作、おまかせください



ミニカーの制作実績、
たくさんあります

